
びよリスカウト

朝食リンゴヨーグルト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

びよりスカウト

【Nコード】

N1647BA

【作者名】

朝食リンゴヨーグルト

【あらすじ】

風紀委員きつての英雄、雲仙冥利が箱庭学園を去って13年が経った風紀委員のお話です。

そして未来の箱庭学園。

実のところ、

この箱庭学園の治安を任されているただ一つの組織、風紀委員には、『モンスターチャイルド』と呼ばれていた風紀委員きつての化物、雲仙冥利先輩が去つて以来、一人も13組生が入ることはなかった。

雲仙冥利先輩が去つてからというもの。

要するに12年という間、13組から風紀委員に入る生徒は一人としていなかった。

それに、

その結果に、

何か明確な理由や原因があるのかと言われれば、実は納得させ得るほどの理由は、特には無い。

別段、風紀委員が13組生の加入を禁止したわけではないし、13組生が入る枠も無いほど風紀委員の人数が増加したわけでもないし(そもそも風紀委員は生徒の4分の1が加入した時期でもこれ以上の加入を断ることはなかった)、はたまた13組が無くなってしまった、といったことでもなかった。ならばこの現象は、奇跡というべきだろうか、偶然というべきだろうか。

いや、これこそ、

否、これこそ、

『異常』によって引き起こされた『異常』な結果というべきか。というか、そうなのだろう。

誰に言われるでもなく、

理屈付ける必要もなく、

技術や才能で説明するまでもない、

常に気持ち悪い結果だけを出してしまう『異常』の『異常』による『異常』な現象なのだろう。

、しかし。それが『異常』によって引き起こされた結論付けてしまつと、

「一年13組。日生野 日和です」

この度、つまり13年目を記録しようとしていたその年に、その『異常』を打ち破るかのごとく、ココに入ることになった『ボクたち異常』は一体、何者なのだろうか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1647ba/>

びよりスカウト

2012年1月4日04時48分発行